

1 議案審議概況

閣法は、新規提出75件（本院先議8件を含む）のうち、消費税転嫁特別措置法案、マイナンバー関連法案、ハーグ条約実施法案、食品表示法案等63件が成立し、残る12件については、本院において4件が審査未了となり、衆議院において8件が継続審査となった。なお、衆議院選挙における一票の較差是正のための選挙区割り法案は、衆議院において本院が否決したとみなし、衆議院において再議決の結果成立した。

参法は、新規提出32件のうち、脱法ドラッグ対策法案、DV防止法改正案、ストーカー規制法改正案の3件が成立し、残る29件については、本院において27件が審査未了、1件が撤回となり、衆議院において1件が継続審査となった。

衆法は、新規提出49件のうち、ネット選挙運動解禁法案、再生医療推進法案、子どもの貧困対策推進法案、いじめ防止対策推進法案等7件が成立し、残る42件については、本院において2件が未了となり、衆議院において3件が否決、27件が継続審査、7件が審査未了、3件が撤回となった。

予算は、9件提出され、いずれも成立した。なお、平成25年度一般会計予算外2件は、本院において否決され、両院協議会が開催されたものの成案を得ず、いずれも衆議院の議決が国会の議決となり成立した。

条約は、新規提出18件（本院先議5件を含む）のうち、ハーグ条約等9件が承認され、残る9件については、いずれも本院において審査未了となった。

承認案件は、新規提出5件のうち、北朝鮮貨物輸出・輸入承認義務等措置等3

件が承認され、残る2件については、衆議院において継続審査となった。

予備費は、新規提出9件が、いずれも衆議院において継続審査となった。

決算は、平成22年度決算外2件（第179回国会提出）は是認され、平成23年度決算外2件（第181回国会提出）は審査未了となり、平成24年度一般会計国庫債務負担行為総調書（その1）等3件は審査に入るに至らなかった。

決議案は、議長不信任決議案1件、内閣総理大臣問責決議案1件、常任委員長解任決議案1件、その他の決議案2件の計5件が提出された。このうち、内閣総理大臣安倍晋三君問責決議案、環境委員長川口順子君解任決議案、北朝鮮による三度目の核実験抗議決議案、オリンピック・パラリンピックに関する決議案が可決され、議長不信任決議案は否決された。

このほか、**参議院事務局職員定員規程改正案**が可決された。